

地域で活動する若者とつながり、応援する  
横浜アクションアワード2025



2025年2月22日(土)11:00-17:00

@横浜市役所1Fアトリウム

### ▶ プログラム

- 13:00 ~ 趣旨説明
- 13:15 ~ 学生団体プレゼンテーション
- 15:10 ~ 見本市交流会
- 16:10 ~ 審査結果発表

### ▶ 当日の参加方法

審査に参加して団体を  
応援しましょう！  
あなたの一票で大賞が決まる！！



### 横浜アクションアワードとは、

地域とともに活動する若者の取り組みを多くの方に知ってもらい、広げていくためのアワードです。2020年より実施し、今回で6回目の開催となります。活動の審査に加え、活動を応援する場、つながりが広がる場を目指します。未来を作るための活動に関わる応援団を増やし、団体が活躍しやすい土壌を作っていきます。

横浜アクションアワードの詳細はぜひHPから！



横浜アクションアワード二次審査の様子

# プレゼン団体の紹介

今年は10件の応募があり、選考を通過した6つの団体から発表があります。

## エントリー団体

- NPO法人宮ノマエストロみやまえ塾【泉区】
- S.legare【瀬谷区】
- Piece of Nature【戸塚区】
- ユニゲート【鶴見区】
- NPO法人まち×学生プロジェクトplus【神奈川区】
- 一般社団法人横浜西口エリアマネジメント×FP TEENS【西区】

## 審査項目

- **ビジョン性** 活動を通じて目指したい社会像があるか
- **継続性** 継続可能な活動計画、運営体制があるか
- **チャレンジ性** 活動に新たなチャレンジがあるか
- **パートナーシップ性** 若者同士、若者と地域で良い関係性が築けているか
- **波及性** 活動が単発で終わるものではなく地域に波及していくものか
- **独創性** 若者ならではの活動、独創性があるか



## アワード二次対面審査員

本日の審査はこちらの皆様を迎えて行います。

- 小正和彦氏（横浜市立みなとみらい本町小学校）
- 渋谷昭子氏（横浜市市民局）
- 吉備カヨ氏（株式会社ジョビア）
- 関那緒氏（認定NPO法人びーのびーの）
- 高校生（関東学院六浦高等学校）
- 観覧参加者の皆様



# 横浜アクションマップ 2025ver.

本日の横浜アクションアワード二次対面審査に参加する団体に加え、横浜で魅力的な活動をする若者団体を紹介していきます！

## アクションマップの見方

大賞 出場年度 活動区  
**NO.団体名 (見本市参加団体)**  
本日出場! プチ情報  
 団体写真  
 ● 設立年度/参加学生の主要大学  
 ● 活動内容  
 HPと各種SNSの有無

## ● 二次対面審査発表団体 & ● 見本市出場団体

5. S.legare【瀬谷区】 ● ●	02
11. NPO法人宮ノマエストロみやまえ塾【泉区】 ● ●	03
16. Piece of Nature【戸塚区】 ● ●	04
26. ユニゲート【鶴見区】 ● ●	05
27. NPO法人まち×学生プロジェクトplus【神奈川区】 ● ●	05
35. FPTEENS×一般社団法人横浜西口エリアマネジメント【西区】 ● ●	06
12. フェリス女学院大学ボランティアセンター【横浜市内】 ● ●	03
30. ほどがや市民活動センター「アワーズ」学生チーム【保土ヶ谷区】 ●	05
32. 横浜カモメ情報局【横浜市内】 ●	05
36. 関東軽音部【西区/港北区】 ●	06
42. 全国学生ボランティアフォーラム【全国】 ●	06

2020年出場

緑区

### 1. 神奈川大学経営学部山岡ゼミ



- 2016年/神奈川大学
- ゼミの研究テーマは「持続可能な社会の構築と探求」。近隣農家との連携による体験活動の企画・運営、地産地消の飲食店と連携したマルシェの活性化等、横浜市内に限らず県内各所で活動している。



2024年出場

緑区

### 2. 神奈川大学体育会サッカー部



- 2020年/神奈川大学
- 緑区竹山団地を舞台に、地域住民との交流を深める活動を実施。サッカー部学生が中心となり、コミュニティカフェや介護予防教室、スマホセンターを運営。多世代交流を通じて、対話力や問題解決能力を養いながら、地域貢献に努めている。



2023年出場

緑区

### 3. CanVAS



- 2023年/立教大学/神奈川大学/東洋英和女子大学
- 好奇心を育み、未来を描くきっかけを届けることをビジョンに活動している。社会人と対話しライブデザインを行う『等身大の私』企画、女子中高生の好奇心・自己理解を深める『女子キャリアデザインプロジェクト』、高校生の企画や挑戦を伴走する活動を主に行っている。



2020/2022年出場

旭区

### 4. サコラボ



- 2017年/横浜国立大学
- 横浜国立大学の学生が左近山団地に居住し、地域住民と一体となって地域活性化に取り組む。ピザ窯を作ったり、映画祭を開催したりと、ユニークなイベントを企画・実施。地域の小中学校とも連携し、地域ぐるみの教育活動にも力を入れている。



2023年出場

瀬谷区

### 5. S.legare



- 2023年/様々な大学
- 神奈川県横浜市を拠点に活動している。地域と学生を結びつけることで地域を活性化させる他、学生たちに活動の機会を提供することを目的としている。2024年度は瀬谷区三ツ境商店会と連携し、「白姫祭り」にて学生主体のステージを企画・実施した。



### 6. マッチメディア瀬谷



- 2021年/様々な大学
- 「人とまちをつなぐ」をテーマに横浜市瀬谷区の魅力を発信するローカルメディア。区内のおすすめスポットや活動する人々を積極的に取材し、記事として発信。区内観光地の広報活動や行政との連携も行い、地域の魅力を多くの人に知ってもらうため、多岐にわたる活動を実施。



旭区/瀬谷区/西区

### 7.NPO法人MIKs



- 2021年/様々な大学・高校生
- 高齢者向けにスマホ講座等のデジタル支援を行っている。地域活動を始めた方向けに、スマホサポーター養成講座も開催。ケアプラザや役所、自治体と連携しながらデジタル偏差値の向上を目指している。



2020/2021/2022年出場

泉区

### 8.エコキャンパス研究会



- 2002年/フェリス女学院大学
- 泉区役所と連携し、ペットボトル削減やマイボトル普及に向けた啓発動画を作成している。また、地元のカフェやベーカリーとコラボし、地域産の食材を使ったメニュー開発や、学園祭でのパン販売など、地域に根ざした取り組みを行っている。



2023年出場

泉区

### 9.国際協力団体 キープ・ザ・スマイル



- 2020年/フェリス女学院大学
- 発展途上国の人々の暮らしを改善するため、国際協力活動を行う。フェアトレード商品の販売やイベント開催を通して、発展途上国の現状を日本に伝えるとともに、学生や地域住民への啓発活動を実施。また、発展途上国への調査も実施し、より効果的な支援を目指す。



2024年出場

泉区

### 10.しんばしスマホ推進委員会



- 2022年/様々な大学・高校生
- 横浜市泉区で多世代交流型スマートフォン教室を開催。高齢者と学生のつながりの醸成と、世代間の情報格差を解消することによる高齢者のQOL向上を目指している。スマートフォン操作のサポートだけでなく、高齢者が抱える課題を解決できるようなアプリの紹介も行っている。

泉区

### 11.NPO法人 宮ノマエストロみやまえ塾



2025出場!

- 2024年/様々な大学,高校生,社会人
- みやまえ塾は、「全ての子どもたちの将来の選択肢をふやす」をモットーに横浜市泉区で個別指導型の無料学習支援と地域と密着した体験活動イベントの開催をしている。教育格差、体験格差といった地域の課題の解決や、多世代交流の促進などを目指している。



横浜市内

### 12.フェリス女学院大学ボランティアセンター



- 2020年度/フェリス女学院大学
- 2003年4月に設立し、学生スタッフ主体で企画、運営を実施しているボランティアセンター。学生へのボランティア情報提供、学外のNPO・NGO・地域活動を行うさまざまな団体・施設などとの連携を実施。また、学生による問題設定、課題解決にも取り組んでいる。



戸塚区

### 13.NPO法人JUNKO Association



- 1995年/明治学院大学
- ベトナムとミャンマーの子どもたちの未来のために、日本語教育や文化交流などの活動を実施。山岳地域の学校では、衛生環境の改善や教育の大切さを伝える活動も実施。さらに、資金調達のため、現地で雑貨を買い付け、イベントやオンラインで販売するビジネスプロジェクトも展開する。



戸塚区

### 14.NPO法人戸塚てらこや



- 2015年/神奈川大学/明治学院大学
- 子どもたち、大学生、地域住民が一体となり、自然や社会に触れる体験を通して、子どもたちの主体性を育む活動を実施。学生が中心となり、イベント企画や学童訪問など、多様なプログラムを提供する。地域とのつながりを深め、子どもたちの成長をサポートする。



戸塚区/金沢区

### 15.とものラボ x SAI vision



- 2013年/関東学院大学
- エネルギーの創生と貯蔵の研究を進める一方で、NPO法人Aozora Factoryと連携し、産学官連携活動の一環として地域活性化を目的とした科学実験を展開している。研究×ビジネス×教育の場で、ともに未来の科学者を育成する共創パートナーとの出会いを楽しんでいる。



戸塚区

### 16. Piece of Nature



2025出場!

- 2023年/明治学院大学
- 地域のフリースクール等と連携し、主に不登校児童に体験学習の機会を作る、明治学院大学のボランティアサークル。不登校を経験した学生が、授業だけではなく体験学習の機会も少なかった経験から、不登校児童の関心を広げ、「やりたい」を絶対叶えられるよう取り組んでいる。



戸塚区

### 17. 明治学院大学児童教育研究会



- 不明/ 明治学院大学
- 大学周辺の児童を対象に、土曜学校を開催。部員が企画したオリジナルゲームや季節ごとのイベントを通して、子どもたちに楽しい時間を提供する。夏にはサマーキャンプ、冬にはクリスマス会を開催し、地域団体とのコラボレーションも実施する。



金沢区

### 18. かながわ学生ボランティア連合



- 2020年/様々な大学
- フードバンク支援、食品ロス減少活動、生活に困っている方の支援活動、インクルーシブイベントの企画、環境イベントの企画、子ども支援活動、まちづくりイベントの支援などを行っている。



金沢区

### 19. せとさんち



- 2020年/横浜市立大学, 横浜国立大学
- 築80年の空き家をリノベーションし、地域住民が集まる場所に生まれ変わらせる。学生が主体となり、イベント開催や空き家貸し出しを行い、地域との交流を深めている。町内会と協力し、スマホ教室や祭礼のお手伝いなど、様々な活動を通じて地域に貢献。



2023年出場

金沢区

### 20. 横浜市立大学 学生ボランティア団体 Clover



- 2022年/横浜市立大学
- SDGs14「海の豊かさ」をテーマに海洋問題解決に向けた活動を実施。コンタクトレンズの空ケースリサイクルや海岸清掃など、身近なことから始め、多くの人々に海洋問題への関心を引きかけている。地域住民との共働を通して、より良い海づくりを目指す。



大賞

2023年出場

金沢区/鶴見区

### 21. 横浜市立大学ボランティア団体 one by ONE



- 2018年/横浜市立大学
- 入院中の子どもたちに、オンラインで家庭教師とイベントを提供。学習のサポートだけでなく、学習というコミュニケーションツールから子どもたちに「気にかけてくれる人がいる」と感じてほしいという思いで活動する。家族との思い出作りを支援するため、年に4回のイベントも実施。



金沢区

### 22. LINKAI横浜金沢ラボ研究室



- 2024年/関東学院大学
- LINKAI横浜金沢の学校を中心に科学実験教室を開催する。産学官連携を生かし子どもに科学の面白さ、楽しさを実感してもらう。



港北区

### 23. 師岡こども学習会



- 2017年/様々な大学
- 師岡地区内の小学生を対象に、師岡町会館で月に一回行っている学習会。大学生ボランティアが勉強を教える「学びの時間」と工作やちょっとした実験など工夫をこらしたプログラムで子供たちの興味をひきだし、楽しく学ぶ「みんなの時間」で構成されている。

都筑区

### 24. 東京都市大学 ISO学生委員会



- 1998年/東京都市大学
- 横浜キャンパスが取得したISO14001認証の維持と、学外の環境意識向上を目的に活動。地域のお祭りや若者環境デーへの参加、グリーンカーテンプロジェクトの実施など、多岐にわたる活動を展開する。また、ペットボトルキャップ回収など、具体的な行動を通して環境保全に貢献。



2024年出場

青葉区

### 25.あおばコミュニティ・テラス



- 2020年/様々な大学・高校生
- 横浜市青葉区青少年の地域活動拠点。中高生主体のまちづくりプロジェクト、地域ボランティア活動、中高生、大学生の自主企画イベントやワークショップを行っている。地域の交流の場でもある。



鶴見区

### 26.ユニゲート



- 2024年/様々な大学
- 「地域と繋がる学生集団！」をモットーに鶴見区で活動している有志学生団体、ユニゲート。「大学生と関わりたい地域」と「活動したい大学生」のマッチングと大学生同士の交流を生み出すことで継続的に地域に入る学生を増やす環境づくりを目指し、活動している。



2020/2024年出場

神奈川区

### 27.NPO法人 まち×学生プロジェクトPlus



- 2022年/様々な大学
- 「若者」、「地域」そして「かける」この三者が様々な活動を協働で行い、合言葉である“世代を超えて想いをつなぐ”“まち”づくり”を実現できるような活動を行っている。卒業してからも“まち”に戻ってくる取り組みを行う卒業生が活動に関わることが多いことも特徴。



保土ヶ谷区

### 28.Agridge Project (アグリッジプロジェクト)



- 2017年/横浜国立大学
- Agridge Projectは、農業を通じた地域活性化を目指す学生団体。様々な学部の学生が、畑作業や商品開発、地域イベントの企画など、それぞれの専門性を活かして活動。ビジネスとコミュニティの両軸で地域貢献を目指し、和町商店街とも連携して活動。



2023年出場

保土ヶ谷区

### 29.KIKCAFE学生部+チーム平成



- 2021年/様々な大学
- ほどがやの歴史を生かしたイベントで多世代交流を促し、地域への愛着を育む活動を行う。地域住民と協力し、宿場町の歴史をテーマにしたイベントを開催。ボランティアだけでなく、広報誌の作成などにも携わり、地域全体でイベントを作り上げる。



2020年出場

保土ヶ谷区

### 30.ほどがや市民活動センター 「アワーズ」学生チーム



- 2018年/神奈川大学/関東学院大学/横浜商科大学
- 活動を通して地域のみなさんの“はじめの一歩”を応援する、NPOが運営する公共施設の中にある学生チーム。現在は小学生と学生メンバーで毎月の会議や地域清掃等を行っている。



2020年出場

保土ヶ谷区

### 31.ほどがや無料塾



- 2013年/横浜国立大学
- 退職教員や地域住民が中心となり、和町駅や星川駅近くで学習支援を実施。子どもたちの「わからない」を「わかる」に変えることを目指し、宿題や受験勉強のサポートを行う。また、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供し、多様な学びの機会を提供する。



横浜市内

### 32.横浜カモメ情報局



- 2024年/横浜国立大学
- 環境保全活動を行う地域団体をサポートする団体。「環境課題解決に新しい風を」というチーム理念のもと、学生ならではの柔軟な発想とユニークなアプローチで環境課題解決へ貢献。ポスターやPV作成、イベント運営等の広報業務やグループ団体の設立を行う。



保土ヶ谷区

### 33.ワダヨコ



- 2010年/横浜国立大学
- 横浜国立大学の学生が中心となり、和田町で地域交流活動を実施。子ども向けイベントの企画・開催や、町内会主催のイベントへの参加を通して、地域住民との交流を深めている。和田町のゆるキャラ「和田丸」の運営も担い、地域の魅力を発信する。



西区

### 34.あすのち



- 2017年/様々な大学
- 「子どもが自分の明日を信じていける社会」を目指し、無料の学習サポート教室とフリースペースを開いているボランティア団体。小学生から19歳までが対象で、スタッフと一対一で宿題や受験勉強に取り組んだり、ボードゲームであそんだりして過ごすことができる。



2024年出場

西区

### 35.FPTEENS×一般社団法人横浜西口エリアマネジメント



2025出場!

- 2017年/高校生
- 横浜駅西口エリアのまちの活性化と魅力追求に、10代の目線で取り組む高校生チーム。「ニシグチを楽しむ、楽しんでもらう」を合言葉に、まちのリサーチ、イベント企画、情報発信などを行っている。まちづくりに関わりながら、西口を舞台に自分達のやってみようという事に挑戦している。



西区/港北区

### 36.関東軽音部



- 2023年/高校生
- 関東圏で「学校に軽音部がない」「学校の軽音部になじめない」「外部でも軽音活動がしたい」という学生の居場所を作るために設立。地域のライブハウスと協力してライブを開催し、出演者やスタッフ、そして地域の人々が交流する場を提供する。運営は高校生が行っている。



西区

### 37.NPO法人 Connection of the Children



- 2010年/様々な大学
- 「全ての子どもがやりたい事を見つけ、それに挑戦できる社会」と「国籍や文化、障がいに関わらず誰もが温かい気持ちで繋がれる社会」を目指し、子どもたちの挑戦を応援する教育事業や国際交流事業を行っている。



西区

### 38.野毛坂グローバル



- 2016年/様々な大学,高校生
- SDGsの基本理念「誰ひとり取り残さない」な社会を目指す様々な活動を行っている。海外と日本の学びあいを通じた地域づくりと多文化共生を目指す。海外へのスタディツアーの実施、海外から日本へのスタディツアーの実施もしている。



中区

### 39.かんきょう文化祭



- 2010年/様々な大学,高校生
- かんきょうデザインプロジェクトは、環境問題への関心を高めるための活動を実施。毎年開催される「かんきょう文化祭」では、中高生のフォトコンテストやリメイクファッションショーなど、様々なイベントを通して、環境問題に対する意識啓発活動を行っている。



中区/南区

### 40.下町編集室OKASHI



- 2021年/横浜市立大学
- 横浜の下町「関外(吉田新田)エリア」を拠点に「場づくり」と「アーカイブ」をおこなう若者コレクティブ。文化や美的意識(をかし)をきっかけに、ひとつひとつが居合わせる場の魅力を、そして下町の遊び方を探っている。



2022年出場

中区

### 41.知る、伝える。ボランティア



- 2020年/様々な大学
- 「子ども・若者関係」「まちづくり(地域活性)関係」などにかかわる個人・団体取材し、地域情報をnoteやフリーペーパーで発信している。その他、地域のイベントのお手伝いや体験取材など、地域の団体から協力依頼があった活動を実施している。



全国

### 42.全国学生ボランティアフォーラム



- 2018年/様々な大学
- ビジョンに《「ボランティアっていいよね」を文化に》を掲げ、地域や分野を超えたコミュニティ作りをしている。年に1度、全国からボランティアに関わる学生が集まり、泊まりがけでボランティアや自分の活動についてとことん語り合う合宿研修型のプログラム。



## 主催

NPO法人アクションポート横浜  
(企画メンバー：高城芳之、阪本絢音、中山智萌、今泉美範、佐藤絢音)

## 後援

社会福祉法人神奈川県共同募金会 横浜市市民局 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

## 助成

一般財団法人YS市庭コミュニティー財団



## 若者応援企業の皆様

株式会社安藤建設 石井造園株式会社 社会福祉法人神奈川県共同募金会 新興電設工業株式会社  
武松事業デザイン工房株式会社 横浜旭ロータリークラブ



石井造園株式会社



新興電設工業株式会社



国際ロータリー第2590地区  
横浜旭ロータリークラブ  
The Rotary Club of Yokohama Asahi

## 協力

神奈川県 横浜高速鉄道株式会社



アクションマップ2024はこちら！

